

**第 21 回春の全国中学生ハンドボール選手権大会開催地代表決定戦
兼 令和7年度 氷見市 中 学 生 冬 季 ハ ン ド ボ ー ル 大 会**

実 施 要 項

- 1 主 催 氷見市ハンドボール協会
- 2 共 催 氷見市中学校体育連盟
- 3 後 援 氷見市教育委員会 (公財)氷見市スポーツ協会
- 4 期 日 令和8年1月10日(土)
- 5 会 場 氷見市ふれあいスポーツセンター (住所：氷見市鞍川鞍川43-1)
- 6 競技規則 (1) 2025 年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則による。
(2) 大会使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。
男子：モルテン d 60 H2D4000-RW 女子：モルテン d 60 H1D4000-BW
- 7 競技方法 開催地代表決定戦はリーグ戦方式で実施する。
(1) 競技時間 25 分—10 分—25 分
(2) 順位の決定方法
 - ① ポイント制を用い、ポイントの多いチームが上位となる。
(勝利チーム 2 点、引き分け各チーム 1 点、敗者チーム 0 点)
 - ② 2 チーム以上のチームが同ポイントの場合
 - I 全試合の得失点差
 - II 全試合の総得点数
 - III 全試合の総失点数
 - IV 競技委員長が両チーム代表の立ち会いのもとに抽選を行う。
- 8 参加資格 (1) 令和 7 年度に県協会を通じて、申込締切日までに(公財)日本ハンドボール協会に登録した中学校、クラブ(総合型地域スポーツクラブ等)及び「全国中学校体育大会合同チーム参加規程」による合同チームとする。

※「全国中学校体育大会合同チーム参加規程」(抜粋)

趣旨：少人数のチームにつき単独でチーム編成ができないための救済措置であり、勝利至上主義のためのチーム編成であってはならない。

条件：合同チームとして、それぞれの学校教育計画に基づいて活動している。

- ・「規程」による2校以上からなる合同チーム
- ・「規程」の趣旨による中学校チームとクラブチームからなる合同チーム

- (2) 選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。
クラブチームの選手は在学する学校長に届け出ること。
- (3) 選手は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

- 9 チーム チーム構成は、役員 5 名・選手 16 名とする。
- 10 参加料 1 チーム 5,000 円（開会式前に事務局へ支払うこと）
- 11 参加申込 氷見市ハンドボール協会事務局に提出すること。
提出期限：令和 7 年 12 月 14 日（日）
提出先： 氷見市ハンドボール協会事務局
Kawata.hcmyd@gmail.com
- 12 組合せ 大会運営事務局の抽選により決定する。
- 13 表彰 冬季大会は 3 位までを表彰する。
- 14 資格 開催地代表決定戦で男女それぞれ 1 位のチームは、「第 21 回春の全国中学生ハンドボール選手権大会開催地代表」としての出場権を獲得する。
また、1 月 17 日、18 日に行われる春の全国中学生ハンドボール選手権大会の県代表決定戦への出場権も得る。
- 開催地代表決定戦で男女それぞれ 2 位となったチームを、開催地代表の次点候補とする。
1 位チームが県代表決定戦で出場権を獲得した場合、2 位チームが開催地代表として出場する。また、1 位チームがやむを得ない理由で県代表決定戦に出場できなくなった場合には、2 位チームを代替チームとして推薦する。
- 15 その他 (1) 選手の背番号は、No.1～No.16 を使用することが望ましい。
(2) ユニフォームは、CP、GK とともに濃淡がはっきりした区別できる 2 着以上を用意すること。
(3) 参加選手、役員は登録証を持参すること。
(4) 競技中の傷害については、応急処置のみとし、その後の責任は負わない。
(5) 松ヤニ、松ヤニスプレーの使用は禁止する。ただし、両面テープの使用は認める。
(6) 今大会は、氷見市小学生冬季大会と合同開催となっています。
(7) インフルエンザに対する対応、対策は各チームで対処してください。